

田口小学校だより 1号

令和4年4月22日



# ごりようかく

文責:長澤永子(教頭) 0267 - 82 - 2331

LAST YEAR

令和4年度がはじまりました。

お名前	職務等	前任校
井出 誠一	校長	岡谷市立岡谷田中小学校
小林 大介	1年1組担任	佐久市立岩村田小学校
中島 琴美	1年2組担任	佐久市立望月小学校
上山 拓也	6年2組担任	軽井沢町立軽井沢中学校
森山 貴恵	養護	軽井沢町立軽井沢西部小学校
土屋 弥生	事務職員	新任
町田 勤子	特支支援員	佐久市立岩村田小学校
草薙みゆき	特支支援員	佐久市立高瀬小学校

田口小学校最後の年がやってきました。最後の新1年生は、48名(1組24名、2組24名)。全校児童で心をこめた入学式が行われました。また、新校長、井出誠一校長先生をはじめとして8名の新しい先生方をお迎えしました。今年度は、毎日その瞬間を大切に過ごしていきたいと思います。



## 入学式でのPTA会長のお話（抜粋） PTA会長 田嶋 綾子 様

新一年生のみなさん、ご入学おめでとうございます！田口小学校は「五稜郭」というお星さまのような形をした場所にあります。140年以上も長い間、子どもたちがここで勉強してきたんですよ。今日からみなさんもその仲間になりました。小学校ってどんなところか、わくわくしますね。どうか毎日、たくさんのことを学んで、発見して、感じてください。学校には、優しい先生や頼りになるお兄さんお姉さんがいます。困った時は必ず声をかけてください。きっと力になってくれます。

在校生のみなさん。今日からかわいい一年生が仲間入りします。元気な挨拶やしじみ清掃などみなさんがこれまで感じてきた田口小学校のいいところをいっぱい教えてあげてください。頼りにしています。

保護者のみなさま、お子様のご入学おめでとうございます。立派な子どもたちの姿に胸がいっぱいになりますね。本年度で田口小学校は閉校します。最後は感謝の気持ちを伝えながら、その歴史に幕を閉じ、子どもたちの未来にバトンを渡せるような、心に残る一年にしていきたいと思います。田口小学校最後の時をみんなで大切に、楽しく過ごしていきましょう。



校長室だより

### 四つ葉のクローバー（参観日 校長挨拶より）

校長 井出 誠一

校庭で子ども達が春探しをしています。近づいてたずねてみると「四つ葉のクローバーを探しているんだ。」と教えてくれました。春は希望の季節。草木の芽吹きからはもちろんのこと、子ども達のわずかな言動や表情からも、明るさと喜びが感じられます。

クローバー、すなわちシロツメクサの葉は通常3枚ですが、5,000~10,000本に1本の確率で4枚のものが発生するそうです。その珍しさから、四つ葉のクローバーは幸福の象徴とも言われます。本来三つ葉のシロツメクサが四つ葉になる理由にはいくつかの説があるようです。一説には、人や動物に踏まれて葉の成長点に傷がつき、1枚の葉が2枚に分かれるからだと考えられています。

近年、学校はコロナ対応に追われてきました。様々な行事が通常通りにはできず、やむなく中止とした行事も数多くありました。コロナウィルスが学校の日常に傷を残したここ数年だったとも言えるでしょう。また、本校は今年度を最後に閉校となりますが、学び育った学校がなくなることは、子ども達にとっても地域の方々にとっても、心の傷と言えるかもしれません。

しかし、傷ついて嘆いたり悲しんだりばかりではられません。人や動物に踏まれたシロツメクサが四つ葉のクローバーとなって再生するように、コロナウィルスや閉校の傷から新たな知恵や工夫、勇気や希望を生み出し、それを子ども達の未来につなげていくのが私たち大人の責任だからです。

春探しをしていた子たちは、場所を替えて相変わらず四つ葉のクローバーを探しています。彼らにとって幸福な未来が見つかることを願わずにはられません。

